



だんだん便り

2026. 1月18日

No.77

1月5日 令和8年松江市民新年賀会



上定市長とPRキャラクター「おまっちゃん」

午後1時から松江駅前テルサで行われた市民新年賀会は、市内各界代表者約340人が集まり上定昭仁松江市長や田部長右衛門松江商工会議所会頭などから年頭挨拶を受けた。上定市長は、TV「ばけばけ」効果もあり、丙午の午年にあやかって、活力や行動力、勢いや情熱に象徴される「言伝え」を持ち出し、松江市の魅力やブランド力を高めるチャレンジの年にしたいと抱負を述べました。

大所高所から見る

新年の幕開けである。正月恒例として観る第102回箱根駅伝は、往路の箱根の山登りで3分24秒差をつけられていた5区の青山学院大学の黒田朝日選手があつという間に5位からトップに上りテープを切った。1区で16位と出遅れ、あきらめていたが、驚異的な快走に、がぜん見ている側も興奮と感動をもらった。もちろん復路も首位を維持し3連覇の総合優勝を決めた。友人知人から「LINE」でお祝いがたくさん届いた。中でも「勝負事は最後まで諦めたらいかん！ホラごらん！」とたしなめられたが、せつちかなりがちな昨今、良い教訓になった。

■そして3日、トランプ大統領が麻薬テロ組織としてベネズエラへ侵攻し、マドゥロ大統領夫妻を拘束し身柄をアメリカに移送した。国際社会からは主権を踏みこむものであると一斉に批判が上がった。中国・ロシアなども米国の軍事作戦は法的根拠を欠くと非難するものの、トランプ大統領はどこ吹く風と、その上にグリーンランドもアメリカが所有すると言い出した。り、国益に反すると66の国際協定から脱退や資金拠出の停止をすと言う始末。国際情勢はリーダーがいなく秩序がない混沌とした時代を迎えたと多くの人が強く感じているだろう。

■国政もいよいよ衆議院選挙がとりざたされてきた。高市政権の支持率が70%を超える高支持で推移している中での選挙である。積極財政で物価高騰対策や「地域未来戦略」で強い経済の実現を重点にしている。多極化する議会構成、一方でポピュリズム政策ではないと言われる現政治体制である。先般実施されたスキャンダルで賑い学歴詐称で再選挙になった伊東市の田久保真紀前市長は落選。部下とラブホテル密会の前橋市の小川晶前市長は市長時代の評価で当選。どちらも好ましくないが、有権者はしっかりと人物評価をしている。今度の衆議院選挙も当然有権者は大所高所から政治を判断すると思う。私たち議員も普段活動に対し他山の石としなければならない。

2026 新年！今年も松江市をよろしくお願ひします

令和7年12月議会(12/2~12/23)が閉会しました。

本議会では一般会計補正予算約38億9,634万円や特別会計・企業会計補正予算案件22件や、条例案21件、一般案件35件、議員提出条令案1件など79件を審議し、いずれも可決いたしました。

一般会計では物流の2024年問題や少子高齢化に起因するドライバー不足に対し、人口減少地域における物流網の維持のために官民で設立した「松江市モーダルシフト協議会(国土交通省事業)」に持続可能な配送モデルの構築を検討する予算や、職員・特別職の人事院勧告による人件費や報酬等の引上げ予算、また国が主導する物価高騰対応重点支援地方交付金活用事業で、子育て世帯に対して子供一人当たり2万円を支給や学校・保育所の給食費の値上り分の全額支給や商業・サービス業・製造業が取り組む省エネルギー対策への補助支援予算が通過し、今後実施してまいります。

12月議会・主な一般会計補正予算事業

補正額約38億9,634万円で総額約1,203億6,322万円

■しごとづくり.....2,811万円

★持続可能な物流サービスを実現する.....2,202万円

(将来を見据えた持続可能な配送モデルの構築)

★朝ドラ「ばけばけ」放映に呼応した観光客受入れ態勢強化.....609万円

(警備員の配置やおもてなし駐車場にい看板設置)

■人づくり.....2億1,244万円

★生活保護関係費の適切な実施.....2億1,244万円

<医療扶助費の増加や生活扶助基準の改定による増額1億6,250万円>

■つながりづくり.....6億667万円

★松江城を未来に伝える積み立て基金.....2億5,247万円

●昭和25~30年の大修理から70

年が経過し、大規模修理が必要になっているため、新たな基金「歴史まちづくり基金」を創設する。

実施計画(令和9年~令和11年度)

概算事業費は約14.5億円を見込む

4月から天守登閣料現800円から

1200円に改めるが、市民は600円

割引と中学生以下は無料となる

★Bリーグバスケットボールのホームアリーナ(スサノオマジック)の改修費の企業寄付金の受け入れ(中国電力株式会社).....3億5,420万円

松江市民総合体育館が

この9月にはスサノオマジックのホームアリーナとして改修が完了します。

総事業費は

36億3,900万円



内観

補正予算概要Ⅱ

- どだいづくり.....2億980万円
 - ★安定的なごみ処理と再資源化.....251億7,736万円(債務負担行為)
- 鹿島町上講武のエコクリーン松江の包括的運営業務委託事業を継続!



●平成23(2011)年から15年間日本製鉄に包括的運営業務を委託していたが、新たに契約を結ぶものである。稼働は無休で、コストの平準化と削減効果。点検や整備費や事故・故障への対応が明確化。地元雇用や先進技術の提案など効果を評価。(15年契約)

★河川浚渫事業費、河川管理施設長寿命化事業.....2億980万円

■災害復旧.....1億9,180万円(国から2/3補助)

★令和7年災害14か所、令和6年災害5か所対応.....1億9,180万円



- ・市道小松・横見線(内が峠の塚)
 - ・東生馬川護岸(東生馬町)
 - ・林道里路線(島根町)
- など公共土木施設や水産施設の復旧工事業

■その他.....12億262万円

- ★国・県土地改良事業負担金、★緊急校務支援員配置事業費
- ★財政調整基金積立金、人件費調整、★令和6年度補助減額分、社会資本整備交付金内示調整

開会期間中の追加補正 2議案

■給与条例等の改正に伴う人件費等の補正.....5億9,799万円

★職員人件費、議会関係費、特別会計への拠出金、公民館関係費

■国の物価高騰対策に対応.....8億4,692万円

★子育て世帯に一人当たり2万円を支給.....7億2,303万円

★学校給食と保育所等給食で根上分の支援軽減.....4,051万円

★商業・サービス業者等が取組む省エネコスト削減支援.....6,130万円

★製造業者等が取組む省エネルギー対策の支援.....6,258万円

1月11日 「はたちの集い」に約1500人



くにびきメッセで行われた20歳の「はたちの集い」に上定市長や野々内誠市議会議員を来賓に該当者の約78%の1,487人が参加し清々しく式典が行われた。実行委員長のバー大喜(たいき)サイドさんは「どんな未来があるのか楽しみにしている」と述べた。

11月28日 自動運転バス実証事業



2027年に自動運転が可能なレベル4を目指し試験
 <(下)ルート順路や360度でカメラが方向性や意思を決定>



「くにびきメッセ」テクノアークしまね」までを自動運転バスの試乗会に参加しました。道路ルート上の障害物がある場合は、まだ、避けて走ることができませんでしたが、2027年には認可が可能となる現在のレベル2からレベル4までに性能を上げる運行試験を実施

11月29日「中海スポーツパーク」完成



全天候型のグラウンドにサッカー少年は大ハッスル!

整備費:約10億円(防衛省の補助金約5億8千万円)



美保関上宇部尾広場スポーツパークは
 ・人工芝の多目的広場(サッカー場も使用可)
 ・クレーのフットサルコート
 ・クラブハウス
 子供や若者は期待大!

発行元:川島みつまさ(光雅)後援会

〒699-0408 松江市宍道町昭和120

電話:0852-66-3007 FAX:66-0523

発行日:令和8年1月18日(日)

市政について、何でもお気軽に「意見」を要望をお寄せください

《川島議員の編集メモ》1/13メモ筆記

何とも悩ましい時間である。高市早苗政権が国会冒頭解散するのか?ニュースがあちこちの情報を照らして推測する。タイミング的にありうると編集メモを記すが、書く記事に困る。



川島ウェブサイト